

京都府自殺対策推進協議会

令和2年11月12日(木)午後1時～3時
京都ガーデンパレス「鞍馬」(2階)

次第

【日時・会場】

1. 日時 令和2年11月12日(木)午後1時～3時
2. 会場 京都ガーデンパレス「鞍馬」(2階)

【内容】

1. 自殺の現状について
2. 第2次京都府自殺対策推進計画 骨子(案)について
 - ① 重点施策
 - ② 数値目標
 - ③ その他の施策

資料

1. パワーポイント資料
2. 京都府自殺対策推進計画 骨子(案)
3. 統計資料

出席者名簿（18名）（敬称略）

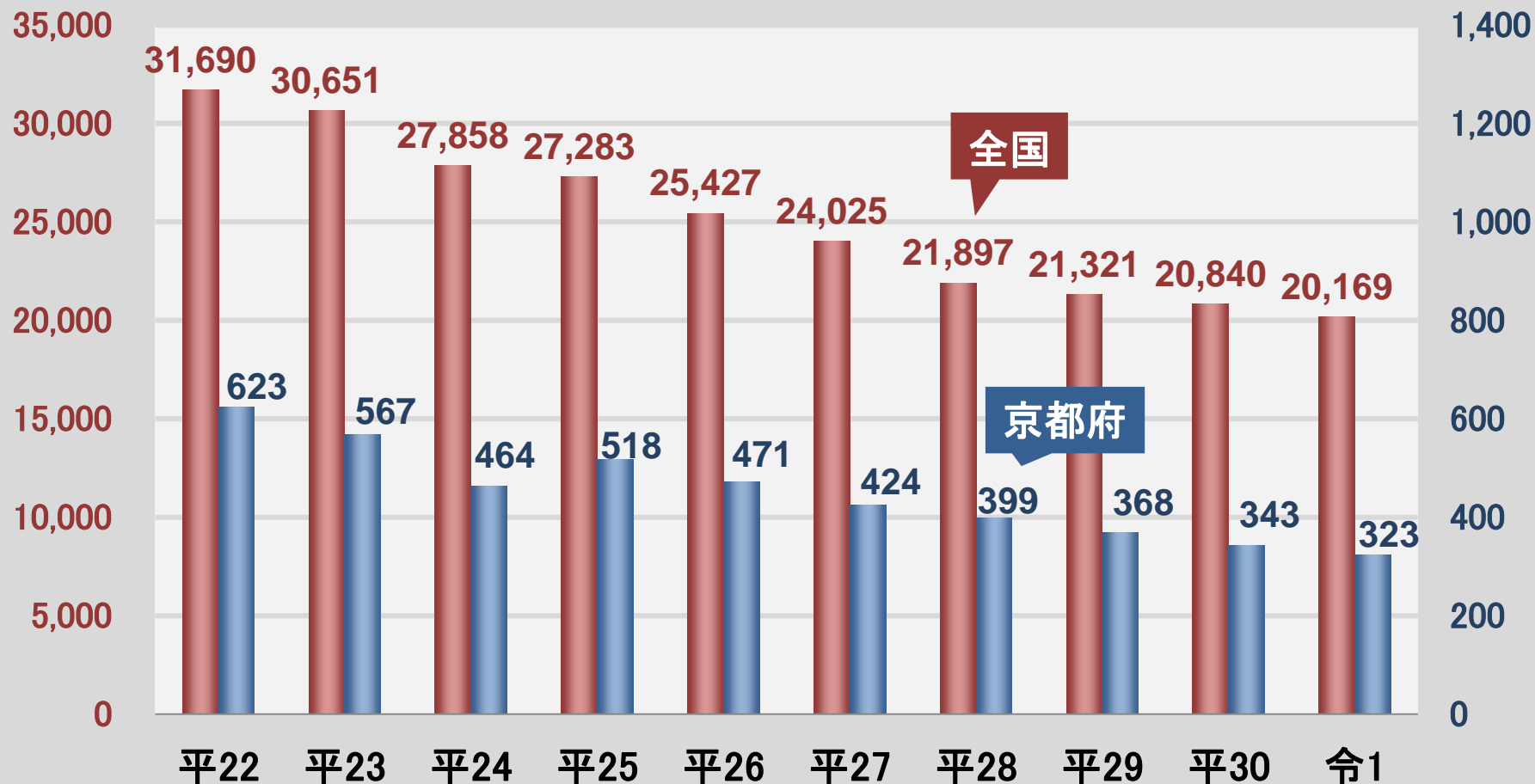
会場参加		オンライン参加	
委員氏名	役職	委員氏名	役職
河瀬 雅紀	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部教授	尾角 光美	(社)Live on 代表理事
浅井 健	京都司法書士会 自殺対策・犯罪被害者支援委員会委員長	高田 博和	久御山町 民生部長
石川 一郎	京都新聞社 論説委員長	武田 隆久	(社)京都私立病院協会 副会長
石倉 紘子	こころのカフェきょうと 前代表	田村 雅之	福知山市 福祉保健部長
久保 恭子	(福)京都府社会福祉協議会 理事	浜垣 誠司	京都精神神経科診療所協会 理事
黒川 雅代子	龍谷大学短期大学部 教授	廣岡 和晃	日本労働組合総連合会京都府連合会 会長
小林 務	京都弁護士会 人権擁護委員会自殺対策部会長		
竹本 了悟	(認定特非)京都自死・自殺相談センター 理事		
鳥井 洋子	(特非)チャイルドライン京都 理事		
波床 将材	京都市こころの健康増進センター 所長		
平田 眞貴子	(福)京都いのちの電話 理事		
槇野 順三	京都労働局 労働基準部長		

あいさつ

自殺の現状について

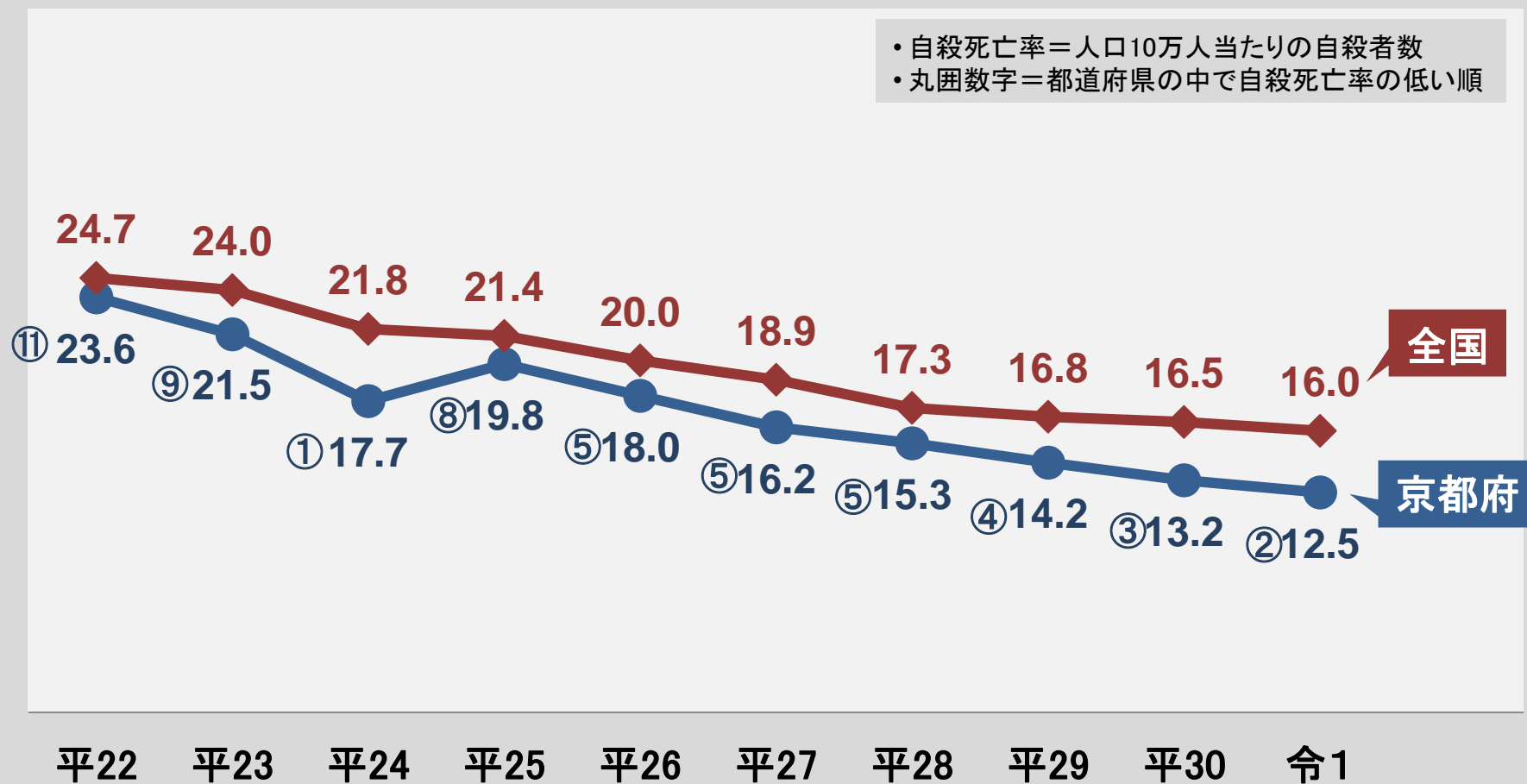
自殺者数(全国・府・過去10年)

- 全国の自殺者数は、10年連続減少し、10年間で▲36%
- 京都府の自殺者数は、6年連続減少し、10年間で▲48%



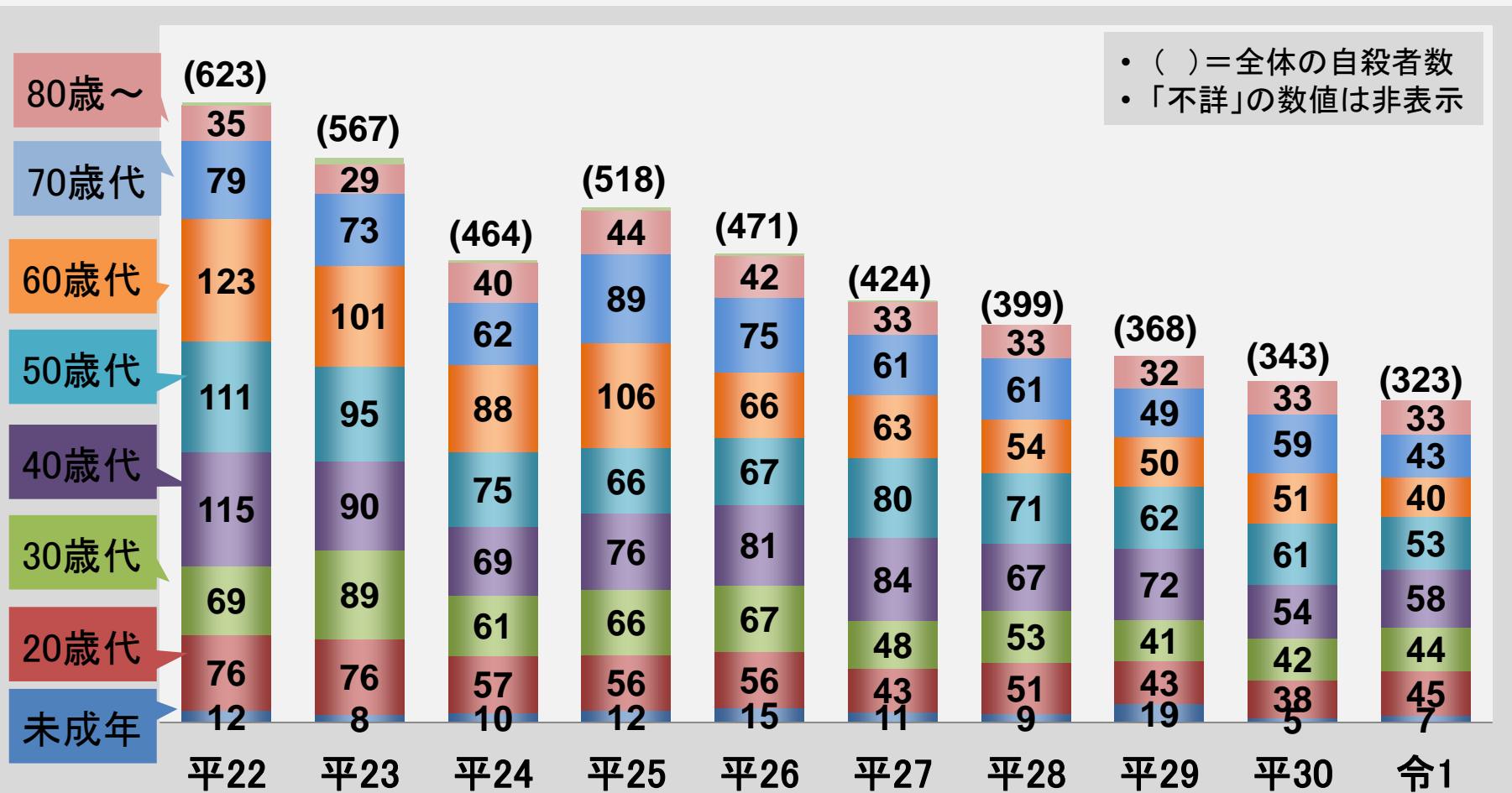
自殺死亡率(全国・府・過去10年)

- 全国の令和元年の自殺死亡率は、16.0。
- 京都府の令和元年の自殺死亡率は、12.5。都道府県で2番目に低い。



年齢階級別自殺者数(府・過去10年)

- 40歳代、50歳代及び60歳代の自殺者数は、大幅に減少
- 未成年及び80歳以上の自殺者数は、減少していない



令和2年の状況（1月～10月）

- 全国：7月～10月まで前年同月比増（10月：+614人）
- 京都府：10月は前年同月比+18人

全国

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
昨年	1,684	1,615	1,856	1,814	1,853	1,640	1,793	1,603	1,662	1,539	17,059
今年	1,680	1,450	1,748	1,495	1,575	1,561	1,840	1,889	1,828	2,153	17,219
増減	▲ 4	▲ 165	▲ 108	▲ 319	▲ 278	▲ 79	47	286	166	614	160

京都府

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
昨年	23	19	28	19	34	27	26	33	29	23	261
今年	27	19	32	34	21	24	31	33	32	41	294
増減	4	0	4	15	▲ 13	▲ 3	5	0	3	18	33

第2次京都府自殺対策推進計画 ～重点施策～

第2次京都府自殺対策推進計画の位置づけ等

位置づけ	<p>①京都府自殺対策に関する条例に基づく、自殺対策を総合的かつ計画的に推進するための計画</p> <p>②自殺対策基本法に基づく、都道府県自殺対策計画</p>
計画期間	<p>令和3年度～令和7年度(5年間)</p> <p>(現行計画:平成28年度～令和2年度)</p>
施策の方向性	<p>①自殺の問題に関する府民の理解促進</p> <p>②自殺の背景となる社会的な要因の軽減</p> <p>③自殺の原因・背景に対応した支援体制等の整備</p>
スケジュール	<p>令和2年12月 パブリックコメント(1箇月程度)</p> <p>令和3年1月 京都府自殺対策推進協議会(下旬予定)</p> <p>令和3年3月 策定(府議会の議決)</p>

4つの重点施策（案）

- 1 **未成年者**の自殺対策の強化
- 2 自殺対策に取り組む**民間団体の人材確保等**の支援
- 3 一人で**悩みを抱え込ませない**体制づくり
- 4 **コロナ禍**における自殺対策の推進

① 未成年者の自殺対策の強化

- 京都府の自殺者数が減少傾向にある中で、未成年者（20歳未満の者）の自殺者数は、増減の繰り返し

- 10歳代の死因に占める自殺の割合が高い。

現状

		全体	10～14歳	15～19歳
平成26～ 平成30年	死亡者数	129,916人	43人	96人
	死因が自殺	1,934人	10人	43人
	自殺の割合	1.5%	23.3%	44.8%

主な取組

- 若者に身近なSNSを活用した相談
- 児童・生徒のSOSの出し方教育の推進
- 学生団体等との連携による、未成年者等対象の広報啓発

②民間団体の人材確保等の支援

現状

- 自殺対策に取り組む民間団体の電話相談、居場所づくり等の活動を担う**人材が不足**

主な取組

- 自殺対策に取り組む民間団体等の**人材の確保、養成及び資質向上**を支援

③一人で悩みを抱え込ませない体制づくり

現状

- 2人に1人が悩みやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいがある(厚生労働省・自殺対策に関する意識調査)。
- 9人に1人が不満や悩みやつらい気持ちに耳を傾けてくれる人がいない(同調査)。

主な取組

- インターネット広告等による相談窓口の周知
- 市町村等との連携による、ゲートキーパーの養成

●ゲートキーパーゲートキーパーとは、死にたいほど深刻な悩みを抱えている人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと(出典:内閣府「ゲートキーパー手帳【第2版】」)をさします。

④ コロナ禍における自殺対策の推進

現状

- 令和2年7月～9月の全国の自殺者数の増加には、コロナが影響している可能性があると指摘する報告
- コロナ禍で孤立感を深める方や生活への不安を抱える方への心のケアが必要

主な取組

- 新型コロナウイルス感染症に関連した**こころの相談**
- 民間団体による**オンラインによる相談事業、居場所づくり等**を支援
- 民間団体が相談事業、居場所づくり等を実施する際の**感染防止対策**の支援

第2次京都府自殺対策推進計画 ～数値目標～

数値目標

目標値 自殺死亡率を令和7年までに**10.2**以下

考え方

国目標＝令和8年までに平成27年比30%減



府目標＝令和12年までに令和元年比**30%減**を目指し、
令和7年までに10.2以下

	平27	...	令1	令2	令3	令4	令5	令6	令7	令8	...	令12
国	18.5									13.0		
府			12.5						10.2			8.7

第2次京都府自殺対策推進計画 ～その他の施策～

主な新規項目等

- **学生団体等と連携**して、未成年者等を対象とする広報啓発を実施します。(p.11)(新規)
- **大学生**を対象に自殺の問題について学ぶことができる**講座を開講**し、また、受講生をゲートキーパーとして養成します。(p.11)(新規)
- **コロナ禍**において、自殺対策に取り組む民間団体等の行う**オンライン**による相談、居場所づくり、わかちあい会等や**感染防止対策**の取組を支援します。(p.12)(新規)
- **事業所**等に対し、弁護士、社会保険労務士又は臨床心理士を派遣して、職場の**メンタルヘルスの向上**のための専門的な支援をします。(p.13)(拡充)
- **SNS**を活用した相談体制を構築して、様々な悩みを抱える生徒からの相談に対応します。(p.15)(新規)
- 若者に身近な**SNS**を活用した相談を実施します。(p.19)(新規)
- **インターネット広告等**を活用して、京都府自殺ストップセンター等の相談窓口を周知します。(p.19)(新規)
- 新型**コロナ**ウイルス感染症に関連した**こころの相談**を実施します。(P.19)(新規)